



# 高山祭

飛騨高山

高山祭は  
4月14、15日  
日枝神社「山王祭」  
10月9、10日  
櫻山八幡宮「八幡祭」  
の総称。



屋台行事は  
ユネスコ  
無形文化遺産に  
登録。

旧高山城下町を南北に二分して春秋に行なわれる

華麗な屋台行事は、わが国有数の山車祭として知られています。

山王祭の屋台12台と八幡祭の屋台11台は、江戸時代後期に発達した祭屋台の典型として、国の重要有形民俗文化財に指定されています。宮本、年行司と呼ばれる役の指揮による華やかな屋台の曳行と、屋台で上演されるからくり奉納や囃子などの諸行事は、屋台行事の代表的なものです。



さんのうまつり

**山王祭**は、試楽祭と本楽祭とからなり、全屋台が曳き揃えられます。御巡幸は、鬨鶏楽や獅子舞などを伴って行われます。夜祭りでは、祭区域内を巡った後、各屋台蔵への曳き別れを行います。15日の本楽祭では、再び屋台が曳き揃えられ、神輿還御とともに屋台の曳き別れとなります。



はちまんまつり

**八幡祭**は、9日の本祭では祭行列の御神幸、一部の屋台による曳き廻しがあり、夜には11台の屋台による宵祭が行われます。10日には御神幸と屋台の曳き揃えなどが行なわれ、夕刻曳き別れとなります。

## 春

山王祭

4月14日・15日

春の高山祭



からくり奉納  
からくりほうのう

三番叟・石橋台・龍神台の3台による「からくり奉納」が披露されます。何十本もの人形の綱を操る綱方たちの手によって命が吹き込まれるからくり人形達の見事な演舞で、観客を魅了します。



屋台曳き揃え  
やたいひきまわし

屋台を間近で鑑賞できるのは、年にこの2日間だけ。神楽台・三番叟・石橋台・龍神台の4台は、両日も中橋の御旅所前の広場で披露。他の8台は神明町～上町周辺に曳き揃えられます。

14日の日没後、それぞれの屋台は約百個もの提灯を灯し祭区域内を巡ります。順道場を過ぎると、曳き別れ歌「高い山」の調べとともに各屋台蔵へ帰ります。

夜祭り  
よまつり



三百年続く行事で、神輿を中心に獅子舞、鬨鶏楽、袴姿の警固など伝統の装束をまとった数百名が、祭区域内を練り歩きます。



御巡幸  
ごしんこう



## 秋

八幡祭

10月9日・10日

秋の高山祭



からくり奉納  
からくりほうのう

八幡祭唯一の「からくり奉納」は布袋台によって、櫻山八幡宮の境内で行われます。2体の唐子が布袋様の肩に飛び移る離れ業と布袋様の軍配からのぼり旗が現れる演出は必見です。外からは見えない綱方達の熟練された綱捌きをご堪能いただけます。



宵祭  
よまつり

9日の夕方の宵祭では、昼と異なる屋台の魅力に出会えます。日が落ちると各屋台に約百個もの提灯が灯され、祭区域内をゆっくり巡り、そして曳き別れ歌「高い山」を歌いながら各屋台蔵へ戻ります。

9日・10日とも布袋台は櫻山八幡宮境内に、他の10台の屋台は表参道に曳き揃えられます。国の重要有形民俗文化財である屋台を、目の前でじっくり鑑賞できます。

屋台曳き揃え  
やたいひきまわし



御神幸  
ごしんこう

お囃子や獅子舞に先導され、鬨鶏楽や袴姿の警固など、伝統の装束をまとった総勢数百名の大行列が、歴史絵巻さながらに現代によみがえります。



屋台曳き廻し  
やたいひきまわし

秋の高山祭の特別な行事である「屋台曳き廻し」は、櫻山八幡宮の表参道を出発し、祭区域内を巡ります。貴重な屋台を実際に動かすことで、その構造の緻密さや、計算された動きの美しさを堪能できます。